

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 磯村 信夫
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,163	△1.6	4	△92.2	33	△60.1	5	△88.6
28年3月期第2四半期	13,383	—	60	—	85	—	48	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 5百万円 (△88.6%) 28年3月期第2四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.08	—
28年3月期第2四半期	9.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	9,393	4,620	49.2	908.17
28年3月期	9,280	4,676	50.4	919.08

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,620百万円 28年3月期 4,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,147	3.0	166	△9.5	186	△17.9	119	2.5
								23.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	411,826 株	28年3月期	411,463 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	5,088,487 株	28年3月期2Q	5,089,173 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、横ばいから低調に推移しました。6月下旬にイギリスが国民投票でEUを離脱することが判明すると、日経平均株価は大幅安になり、新興国経済の成長鈍化も相まって、世界経済に対する不安がもろに日本企業の設備投資や個人消費に影響するなど、デフレマインドを払拭するには至りませんでした。また、熊本地震や猛暑・台風が続くなどしたことで季節商品の消費に陰りが見えました。

花き業界においては、天候不良で、生産量・消費量とも減少しました。7月から9月にかけては相次ぐ台風の発生・上陸により、消費者の購買意欲は減退、9月には台風に加え長雨が続いたことで供給量は減少し品薄となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、天候不良により十分な品揃えができなくなった地方都市の卸売市場への供給を強化するとともに、法人向けにオフィスにグリーン・花を飾ってもらう「フラワービズ」活動、個人向けに週末、家庭に花を習慣的に飾ってもらう「ウィークエンドフラワー」活動を推進しました。

また、連結子会社の株式会社大田ウィングスは、新施設建設工事期間中であり、12月に完成を予定しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間(平成28年4～9月)における当社グループの業績は、売上高13,163,965千円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益4,679千円(前年同四半期比92.2%減)、経常利益33,955千円(前年同四半期比60.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,518千円(前年同四半期比88.6%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して112,390千円増加し9,393,104千円となりました。これは主に建設仮勘定が552,960千円、現金及び預金が339,215千円それぞれ増加し、売掛金が522,631千円減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して168,224千円増加し4,772,156千円となりました。これは主に長短借入金が1,002,920千円増加し、受託販売未払金が490,354千円、未払金が340,839千円それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して55,834千円減少し4,620,948千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5,518千円を計上する一方、剰余金の配当61,062千円を行ったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して339,215千円増加し2,373,639千円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、314,367千円(前年同四半期は4,085千円の増加)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少522,396千円、未収消費税等の減少155,802千円、減価償却費146,874千円によるものです。また、主な減少要因は仕入債務の減少495,459千円、法人税等の支払額44,015千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、909,164千円(前年同四半期は755,692千円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出911,028千円、貸付けによる支出34,000千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入41,321千円によるものです。

財務活動の結果増加した資金は、934,012千円(前年同四半期は69,727千円の減少)となりました。増加要因は、新施設建設に伴う借入による収入1,067,000千円によるものです。また、主な減少要因は借入金の返済による支出64,080千円、配当金の支払額59,863千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036,423	2,375,639
売掛金	2,132,496	1,609,864
商品	1,438	2,021
未収消費税等	155,802	—
その他	127,951	153,723
貸倒引当金	△12,294	△3,810
流動資産合計	4,441,818	4,137,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,139,793	2,086,692
工具、器具及び備品(純額)	486,939	477,667
建設仮勘定	330,552	883,512
その他(純額)	142,095	133,601
有形固定資産合計	3,099,381	3,581,473
無形固定資産		
ソフトウェア	69,198	51,168
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	73,464	55,433
投資その他の資産	1,666,050	1,618,758
固定資産合計	4,838,895	5,255,666
資産合計	9,280,714	9,393,104
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,513,279	1,022,925
買掛金	75,147	71,827
短期借入金	150,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	159,960	253,800
未払金	391,406	50,566
未払法人税等	52,960	38,436
賞与引当金	25,096	22,700
その他	141,476	144,703
流動負債合計	2,509,326	1,904,959
固定負債		
長期借入金	1,339,390	2,098,470
退職給付に係る負債	301,555	320,155
資産除去債務	93,759	94,354
その他	359,899	354,215
固定負債合計	2,094,604	2,867,196
負債合計	4,603,931	4,772,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,072,269	4,016,725
自己株式	△349,852	△350,143
株主資本合計	4,676,783	4,620,948
純資産合計	4,676,783	4,620,948
負債純資産合計	9,280,714	9,393,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	13,383,166	13,163,965
売上原価	12,074,509	11,881,702
売上総利益	1,308,656	1,282,263
販売費及び一般管理費	1,248,419	1,277,583
営業利益	60,237	4,679
営業外収益		
受取利息	2,599	2,311
受取配当金	4,500	6,878
持分法による投資利益	3,201	3,170
貸倒引当金戻入額	—	8,562
その他	14,476	12,592
営業外収益合計	24,777	33,515
営業外費用		
支払利息	—	3,831
保険解約損	—	408
営業外費用合計	—	4,239
経常利益	85,014	33,955
税金等調整前四半期純利益	85,014	33,955
法人税等	36,732	28,436
四半期純利益	48,282	5,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,282	5,518

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	48,282	5,518
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	48,282	5,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,282	5,518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85,014	33,955
減価償却費	78,508	146,874
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,131	△2,396
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,063	18,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△618	△8,562
受取利息及び受取配当金	△7,099	△9,189
支払利息	—	3,831
持分法による投資損益(△は益)	△3,201	△3,170
売上債権の増減額(△は増加)	75,758	522,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	△589	△582
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,320	△495,459
未収入金の増減額(△は増加)	4,876	1,397
未払費用の増減額(△は減少)	3,929	△5,632
未払金の増減額(△は減少)	△6,577	△23,189
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	155,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,523	14,418
その他	△73,588	△16,067
小計	△2,237	333,027
利息及び配当金の受取額	22,147	29,186
利息の支払額	—	△3,831
法人税等の支払額	△15,824	△44,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,085	314,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△827,294	△911,028
無形固定資産の取得による支出	△1,300	△5,457
貸付けによる支出	△102,800	△34,000
貸付金の回収による収入	75,703	41,321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△755,692	△909,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	150,000
長期借入れによる収入	—	917,000
長期借入金の返済による支出	—	△64,080
自己株式の取得による支出	△827	△290
配当金の支払額	△58,880	△59,863
リース債務の返済による支出	△10,018	△8,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,727	934,012
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△821,333	339,215
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777	2,034,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,803,444	2,373,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。